

1. 職名・氏名 准教授 長谷川小眞子2. 学位 学位 修士 専門分野 看護学 授与機関 福井県立大学 授与年月 2005年3月

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習	
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 精神保健（1単位 毎年開講）1年前期 オムニバス講義	
② 内容・ねらい 保健医療福祉の専門職に必要な精神保健に関する基礎知識を学習し、専門領域の学習につなげることを目的とする。 1.精神の発達と機能について理解できる。 2.ストレスとその反応について理解できる。 3.社会における精神保健の現状と課題、および対策について理解できる。 4.自分自身のメンタルヘルスの維持・増進に活用することができる。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 本科目は保健医療福祉の専門職に対し、精神保健に関する基礎知識を教授し、専門領域の学習につなげることを目標としている。日常生活での体験や社会で起こっている精神保健に関する出来事を教材として取り上げ、精神保健に関する問題（虐待、自殺、依存症等）に関して個別学習⇒グループワーク⇒発表・全体討論する授業展開を行った。また、授業に関する感想の記述をもとに教授方法の調整を行った。	
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 精神看護学（2単位 毎年開講）2年後期 オムニバス講義	
② 内容・ねらい 精神看護実践に向けた基本的知識の獲得を狙いとする。こころの健康・不健康の捉え方、精神障害の病理的特徴及び治療経過についての知識を得る。障害が生活に及ぼす影響を理解し、具体的な看護実践の展開に必要な知識を得る。 また、精神看護の展開の基礎的知識となる、精神疾患、精神科における各種検査や各種治療法（精神療法、精神科薬物療法など）および精神障害に対する心理社会的リハビリテーションの概要などを理解する。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 講義では、主要な精神疾患に関して、病因・症状・診断・具体的な看護の展開例を示している。学生にとって、精神疾患は理解しにくい内容が多い。したがって、適宜、視聴覚教材等を使用しながら、精神疾患を患うことの意味や生活のしづらさを学生が理解しやすいよう、講義内容を構築している。また、内容毎に確認テストを実施し、正答率が低い内容に関して解説するなど、精神看護を実践するうえで基盤となる基礎知識の習得や看護実践の概要理解の定着に努めた。	
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 精神看護学演習（1単位）3年前期	
② 内容・ねらい 精神の健康問題を持つ人に対して、治療的関係性の活用を基盤とした精神看護学の知識と技術を学習する。また、精神の健康問題を持つ人に対する看護展開の方法について、精神看護の重要な技術である治療的関係性を活用した看護展開と、対象者のセルフケアの再構築に向けて、	

対象者の持てる力を見つけ伸ばし育てることに焦点を当てた看護過程の展開方法を学ぶ。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

看護過程の展開については、主要な精神疾患の紙上事例を設定し、グループワークおよび個人学習を組み合わせながら、学生が具体的な看護援助を実践できるよう、講義内容を構築している。2年次の「精神看護学」の学習内容に関しても、復習できるよう、授業内容の工夫を図った。また、精神障害者の地域生活支援の実際および精神看護の専門性に関する知見を得るため、それぞれ「訪問看護ステーションACT-Jの施設長」「精神看護専門看護師」をゲストスピーカーに招き、学びを深めた。

【ゲストスピーカー 2人】

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等

精神看護学実習（2単位）3年生

②内容・ねらい

実習体験を通して、精神の健康の維持・増進、回復するために必要な知識・技術・態度を統合し、精神に障害を持つ人に対する看護実践の基礎的能力を養うことを目的とする。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

実習では、初めて精神障害者と関わる学生がほとんどであり、不安や緊張が強いため、特に学生の反応に留意しながら、実習目標が達成できるよう指導にあたっている。

患者の精神症状の理解に関しては、患者の言動の意味を学生と共に考え、病的体験により日常生活が障害されている部分を支持しながら、患者の強みを生かして、患者が主体的に生活できる力を身につけるために必要な看護実践を指導している。

実習を通して、学生は治療環境としての自己を振り返らざるを得ない機会があり、学生にとっては「自分を見つめる」辛い作業になることもある。このような時は、学生が自分の感情や価値観に気づけた事を支持し、自己の課題（自己の感情表出や対象者の気持ちをくみ取る等）を明確にし、課題達成ができるよう指導にあたっている。

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等

卒業研究：精神看護学（3単位）4年生

②内容・ねらい

科学的思考を養い、自ら探求する態度と研究能力の基礎を身につけることを目的とする。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

学生の研究動機を尊重し、リサーチクエスションの明確化、研究方法・結果・考察等、研究に関する基本的な学習内容について理解を深めるために、週1回のゼミを開催した。文献検索や論文作成に関して、学生自らが研究プロセスを踏んでいると自覚でき、研究プロセスを的確に文章表現できるようにサポートした。

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等

大学院：精神健康学特論（2単位 隔年開講科目）1年生 オムニバス講義

②内容・ねらい

こころの健康な状態と病気の状態を理解し、その予防と治療・リハビリテーションについて学ぶ。メンタルヘルスの課題を抱えた対象者に、ケアやサポートを行ったり、またそれらを研究していく場合に必要となる主要な概念について学ぶ。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

精神の健康について理解を深め、看護・福祉領域で遭遇することが多い精神的健康に関する課題に対して、ケア提供者の立場から検討できることを目的としている。

ライフサイクル・学校・職場および家庭における精神保健に関して、社会で起きている出来事を教材として取り上げ、院生と意見交換する中で、ケア提供者の立場で精神保健を考える機会を設けた。また、精神保健に関して、院生が興味・関心を持った事柄についてプレゼンを行い、活発な討論を行った。

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書	【 本】
② 学術論文 (査読あり)	【 本】
③その他論文 (査読なし)	【 本】
④学会発表等 (ポスター発表)	
*1. 「A県下における精神科看護師の統合失調症患者に対するフィジカルアセスメントの実態と困難感との関連」、日本看護研究学会第48回学術集会(2022年8月)、 <u>長谷川小眞子</u> 、藤井徹也、市江和子.	【1件】
⑤その他の公表実績	【 本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度科学研究費補助金(研究代表者:豊橋創造大学教授 藤井徹也) 1. 挑戦的研究(萌芽):AIを活用した在宅医療における多職種の情報一元化を可能とする連携システムの開発、研究分担者 2. 基盤研究(B):多職種・多角的データの一元化 AIを活用した訪問看護アセスメント支援システムの開発、研究分担者 	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	
<ul style="list-style-type: none"> ・日本精神科看護協会 福井県支部看護研究発表会 論文査読委員(H28~現在に至る) ・日本精神科看護協会 福井県支部看護研究発表会 講評(2022年10月22日) 	

5. 地域・社会貢献活動

① 国・地方公共団体等の委員会・審議会
② 国・地方公共団体等の調査受託等
③ (公益性の強い)NPO・NGO法人への参加
1)「福井ARCを支援する会」事務局(R2.4~現在に至る) 事務局として「福井ARCを支援する会」の開催(月1回)・運営、財務(会員会費納入、出納管理等)、庶務全般を行っている。
2)「福井ARCを支援する会」運営会員(H26.6~現在に至る) 運営会員として月1回委員会参加し、福井ARCを支援する活動に参加している。
④ (兼業規程で業務と見なされる範囲内での)企業等での活動
1)「福井刑務所 処遇カウンセラー(薬物担当)」(R2.4~現在に至る) 薬物依存離脱指導に関する業務支援として教育専門官とともに月1回の講義に参加し、アドバイザー的な役割を担っている。
⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等
1) 勝山市職員心の健康相談室 相談員(H26.4~現在に至る) 2か月に一度、職員のメンタルヘルス相談業務にあたっている。
2) 福井県看護協会 保健師・助産師・看護師実習指導者講習会

<p>「精神看護学実習の実際」講師（H25～現在に至る）</p> <p>3) 令和3年度 勝山市職員メンタルヘルス研修会（講師） 職場のメンタルヘルス対策 一人々の能力を引き出す対応（2022年2月15日開催）</p> <p>4) 坂井市立三国病院 看護研究指導（3題）（H16～現在に至る）</p>
<p>⑥公開講座、オープンカレッジ、社会人・高校生向けの講座の開催 [福井県立大学大学院オンライン公開講座] ・「看護研究のための文献の探し方、文献の読み方」（2022年6月25日開催）</p> <p>[高校入試説明会] ・若狭高校入試説明会（2022年7月11日）</p>
<p>⑦その他</p>

6. 大学運営への参画

<p>(1)補職</p>
<p>(2)委員会・チーム活動</p> <p><学部>大学院前期修士課程 WG（R2.12～現在に至る） <学科内>実習検討委員会（委員長） 実習関係：福井県立病院統括</p>
<p>(3)学内行事への参加</p> <p>[オープンキャンパス] ・福井県立大学オープンキャンパス（講師）「精神看護学で学ぶこと（演習編）」 (2022年8月4日開催)</p>
<p>(4)その他、自発的活動など</p>